

## 規制区分

劇薬、処方箋医薬品  
注意－医師等の処方箋により使用すること

5-HT<sub>3</sub>受容体拮抗型制吐剤

## ナゼア®注射液 0.3mg

Nasea® Injection 0.3mg

ラモセトロン塩酸塩注射液

ナゼア注射液0.3mg 配合変化表 &lt;本剤の性状：無色澄明 pH：4.0～5.0&gt;

注) 遮光下に配合変化試験を実施したのものには製品名の後に★を付した

掲載 番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	外観／pH／残存率					備考
						配合剤	配合後				
							配合直後	3時間	6時間	24時間	
<117 精神神経用剤>						[9i] その他					
1	アタラックスP注射液 (50mg/ml)	ファイザー	ヒドロキシジン塩酸塩	50mg/1mL +Sal. 50mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						4.2	4.8	4.8	4.8	4.8	
							100.0	99.6	99.5	99.6	
<124 鎮けい剤>						[2] アトロピン系製剤					
2	ブスコパン注20mg	日本ベーリン ガー	ブチルスコポラミン臭化物	20mg/1mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						4.0	4.4	4.4	4.4	4.4	
							100.0	100.9	100.8	100.8	
<124 鎮けい剤>						[4] マグネシウム塩製剤					
3	マグネゾール	東亜薬工 - 鳥居	硫酸マグネシウム水和物(2g)・ ブドウ糖(2g)	20mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						4.9	4.8	4.9	4.9	4.7	
							100.0	97.9	99.3	99.0	
<213 利尿剤>						[3] 抗アルドステロン製剤					
4	ソルダクトン200mg	モンサント = 大 日本	カンレノ酸カリウム	200mg /Sal. 20mL	0.3mg/2mL	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	
						9.3	9.2	9.1	9.1	9.2	
							100.0	97.9	94.4	98.1	
<213 利尿剤>						[4] 炭酸脱水酵素阻害剤					
5	注射用ダイアモックス	レダリー - 武田	アセタゾラミドナトリウム	750mg(1.5管) /Sal. 300mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	
							100.0	102.2	98.2	97.7	
<213 利尿剤>						[9i] その他					
6	アレリックス6mg注★	ヘキスト	ピレタニド	6mg/2mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	遮光保存
						9.2	5.1	5.1	5.1	5.1	
							100.0	102.2	102.5	99.9	
7	ルネトロン注射液	三共	ブメタニド	1mg/2mL (2管)	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	白濁		
						7.1	6.4	6.4	6.5		
							100.0	100.2	93.2		
8	ラシックス注20mg	ヘキスト	フロセミド	20mg/2mL +Sal. 100mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
							6.1	6.1	6.0	6.0	
							100.0		99.9	99.8	
9	ラシックス注100mg	ヘキスト	フロセミド	20mg/2mL (0.2管)	0.3mg/2mL	無色澄明	白濁				
						9.1	6.8				
9	ラシックス注100mg	ヘキスト	フロセミド	20mg/2mL (0.2管) +Sal. 198mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						9.1	6.1	6.1	6.1	6.0	
							100.0	101.8	102.6	101.4	

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の/(溶解), +(希釈)の右側に記載の略号: D.W. は注射用水, Sal. は生理食塩液, Gul. はブドウ糖注射液, Sol. は添付溶解液を示す。

## ナゼア注射液0.3mg 配合変化表 &lt;本剤の性状：無色澄明 p H：4.0～5.0&gt;

注) 遮光下に配合変化試験を実施したものには製品名の後に★を付した

掲載 番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	外観／pH／残存率					備考
						配合剤	配合後				
							配合直後	3時間	6時間	24時間	
<232 消化性潰瘍剤>						[5] H <sub>2</sub> 遮断剤					
10	タガメット注射液200mg	藤沢 = SBS	シメチジン	200mg/2mL +Sal. 18mL	0.3mg/2mL	無色澄明 5.4	無色澄明 5.7	無色澄明 5.6	無色澄明 5.7	無色澄明 5.6	
11	ガスター注射液20mg	アステラス	ファモチジン	20mg/2mL +Sal. 18mL	0.3mg/2mL	無色澄明 6.1	無色澄明 5.9	無色澄明 5.9	無色澄明 5.9	無色澄明 5.9	
12	ザンタック注射液50mg	グラクソ = 三共	ラニチジン塩酸塩	50mg*/2mL	0.3mg/2mL	無色澄明 7.0	無色澄明 6.9	無色澄明 6.9	無色澄明 6.9	無色澄明 6.8	*：塩酸ラニチジンとして56mg/ラニチジンとして50mg
13	アルタット注75	帝国臓器 - 住友 製薬 = 武田	ロキサチジン酢酸エステル塩酸塩	75mg /Sal. 20mL	0.3mg/2mL	無色澄明 4.1	無色澄明 4.2	無色澄明 4.2	無色澄明 4.2	無色澄明 4.2	
<239 その他の消化器官薬>						[9i] その他					
14	プリンペラン注射液	藤沢	塩酸メトクロプラミド	10mg*/2mL	0.3mg/2mL	無色澄明 3.7	無色澄明 4.4	無色澄明 4.2	無色澄明 4.1	無色澄明 4.0	*：塩酸メトクロプラミドとして10mg/メトクロプラミドとして7.67mg
<245 副腎ホルモン剤>						[2] コルチゾン系製剤					
15	ソル・コーテフ	住友製薬 - アッ プジョン	ヒドロコルチゾンコハク酸エス テルナトリウム	100mg * /Sol. 2mL	0.3mg/2mL	無色澄明 7.6	無色澄明 7.4	無色澄明 7.4	無色澄明 7.4	無色澄明 7.2	*：ヒドロコルチゾンとして100mg/コハク酸ヒドロコルチゾンナトリ ウムとして133.7mg
16	サクシゾン	日研	ヒドロコルチゾンコハク酸エス テルナトリウム	100mg * /Sol. 2mL	0.3mg/2mL	無色澄明 7.4	無色澄明 7.3	無色澄明 7.3	無色澄明 7.2	無色澄明 7.2	*：ヒドロコルチゾンとして100mg/コハク酸ヒドロコルチゾンナトリ ウムとして133.7mg
<245 副腎ホルモン剤>						[4] フッ素付加副腎皮質ホルモン製剤					
17	デカドロン注射液	万有	デキサメタゾンリン酸エステル ナトリウム	6.6mg * /2mL	0.3mg/2mL	無色澄明 7.8	無色澄明 7.5	無色澄明 7.5	無色澄明 7.4	無色澄明 7.4	*：リン酸デキサメタゾンとして8mg/デキサメタゾンとして6.6mg
18	リンデロン注	塩野義	ベタメタゾンリン酸エステルナ トリウム	2mg * /0.5mL	0.3mg/2mL	無色澄明 7.6	無色澄明 7.2	無色澄明 7.1	無色澄明 7.1	無色澄明 7.0	*：リン酸ベタメタゾンナトリウムとして2.65mg/ベタメタゾンとして 2mg
<245 副腎ホルモン剤>						[6] プレドニゾン系製剤					
19	水溶性プレドニン20mg	塩野義	プレドニゾンコハク酸エステ ルナトリウム	20mg * /D. W. 2mL	0.3mg/2mL	無色澄明 6.9	無色澄明 6.7	無色澄明 6.7	無色澄明 6.7	無色澄明 6.7	*：コハク酸プレドニゾンとして25.56mg/プレドニゾンとして 20mg
20	ソル・メドロール500	アップジョン	メチルプレドニゾンコハク酸 エステルナトリウム	2g * (4管) /D. W. 32mL	0.3mg/2mL	無色澄明 7.5	無色澄明 7.5	無色澄明 7.5	無色澄明 7.5	無色澄明 7.4	*：コハク酸メチルプレドニゾンナトリウムとして663.0mg/メチル プレドニゾンナトリウムとして500mg
<314 ビタミンC剤>						[0i] ビタミンC製剤					
21	高単位アスコルチン注射液 (販売中止)	東京田辺	アスコルビン酸	500mg/2mL	0.3mg/2mL	無色澄明 6.8	無色澄明 6.8	無色澄明 7.1	無色澄明 7.3	無色澄明 6.8	販売中止
<317 混合ビタミン剤（ビタミンA・D混合製剤を除く。）>						[9K] VB <sub>1</sub> ・VB <sub>6</sub> ・VB <sub>12</sub> 複合剤（VB <sub>2</sub> 配合を含む）					
22	ビタメジン静注用	第一三共	リン酸チアミンジスルフィド・ B6・B12配合剤	1瓶 /D. W. 20mL	0.3mg/2mL	淡赤色澄明 4.6	淡赤色澄明 4.6	淡赤色澄明 4.6	淡赤色澄明 4.6	淡赤色澄明 4.6	

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の / (溶解), + (希釈) の右側に記載の略号: D. W. は注射用水, Sal. は生理食塩液, Gul. はブドウ糖注射液, Sol. は添付溶解液を示す。

## ナゼア注射液0.3mg 配合変化表 &lt;本剤の性状：無色澄明 pH：4.0～5.0&gt;

注) 遮光下に配合変化試験を実施したのものには製品名の後に★を付した

掲載 番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	外観／pH／残存率					備考
						配合剤	配合後				
							配合直後	3時間	6時間	24時間	
<322 無機質製剤>						[9i] その他					
23	アスパラク注射液	田辺	L-アスパラギン酸カリウム	1.712g/10mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						6.8	6.7	6.7	6.7	6.6	
							100.0	99.3	98.8	98.7	
<323 糖類剤>						[1] ブドウ糖製剤					
24	小林糖液5%	小林薬工	ブドウ糖	5% 100mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						4.0	4.5	4.6	4.4	4.4	
							100.0	99.8	100.8	100.6	
<323 糖類剤>						[2] 果糖製剤					
25	テルモ果糖注★ (販売中止)	テルモ	果糖	5% 200mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	遮光保存 販売中止
						4.3	4.1	3.7	4.0	4.0	
							100.0	101.0	98.6	100.8	
26	10%フルクトン注 (販売中止)	大塚工場	果糖	10% 500mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	販売中止
						3.5	3.6	3.5	3.5	3.3	
							100.0	103.2	95.2	93.7	
<323 糖類剤>						[4] キシリトール製剤					
27	キシリトール注「キョーリン」5% (販売中止)	杏林	キシリトール	10% 500mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	販売中止
						5.5	5.3	5.2	5.2	5.1	
							100.0	99.6	97.9	99.1	
<325 たん白アミノ酸製剤>						[3] 混合アミノ酸製剤					
28	アミノレバン	大塚工場	肝不全用アミノ酸製剤(1)	500mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						5.9	5.9	5.8	5.8	5.8	
							100.0	99.4	98.0	98.6	
<325 たん白アミノ酸製剤>						[9J] 混合アミノ酸・ブドウ糖製剤					
29	プラスアミノ	大塚工場	総合アミノ酸製剤(ブドウ糖加)	500mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						4.5	4.5	4.5	4.5	4.4	
							100.0	100.4	98.2	97.8	
<325 たん白アミノ酸製剤>						[9N] 混合アミノ酸・ブドウ糖・無機塩類製剤					
30	アミカリック★	テルモ = 田辺製薬	アミノ酸・糖・電解質(1)	500mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	遮光保存
						5.1	5.0	5.0	5.0	5.1	
							100.0	99.8	100.1	99.3	
31	アミノフリード	大塚工場	アミノ酸・糖・電解質(2-3)	上室(150mL)・ 下室(350mL)	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						6.6	6.7	6.6	6.6	6.6	
							100.0	99.4	100.9	99.7	
<331 血液代用剤>						[1] 生理食塩液類					
32	大塚生食注	大塚工場	塩化ナトリウム(生理食塩液)	0.9% 500mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						6.1	5.9	5.9	5.9	5.9	
							100.0	100.0	101.5	102.1	
<331 血液代用剤>						[9i] その他					
33	サリンヘス	杏林	ヒドロキシエチルデンプン	500mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						5.8	5.6	5.6	5.6	5.6	
							100.0	96.9	97.9	96.3	

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の / (溶解), + (希釈) の右側に記載の略号: D.W. は注射用水, Sal. は生理食塩液, Gul. はブドウ糖注射液, Sol. は添付溶解液を示す。

## ナゼア注射液0.3mg 配合変化表 &lt;本剤の性状：無色澄明 pH：4.0～5.0&gt;

注) 遮光下に配合変化試験を実施したものには製品名の後に★を付した

掲載 番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	外観／pH／残存率				備考	
						配合剤	配合後				
							配合直後	3時間	6時間		24時間
<331 血液代用剤>						[9L] 乳酸ナトリウム・無機塩類・糖類剤					
34	ソリターT3号	清水 - 武田	維持液(3)／乳酸ナトリウム・ 無機塩類・糖類剤	500mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	
35	ソルデム3A	テルモ	維持液(3)／乳酸ナトリウム・ 無機塩類・糖類剤	500mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						5.8	5.8	5.8	5.8	5.8	
36	フィジオゾール・3号	小林薬工 - ミドリ 十字	維持液(9)／乳酸ナトリウム・ 無機塩類・糖類剤	500mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	
37	EL-3号	森下ルセル	維持液(12)／乳酸ナトリウム・ 無機塩類・糖類剤	500mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	
38	KN補液MG3号	大塚工場	維持液(16)／乳酸ナトリウム・ 無機塩類・糖類剤	500mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						4.9	4.9	4.7	4.8	4.9	
39	10%EL-3号	森下ルセル	維持液(17)／乳酸ナトリウム・ 無機塩類・糖類剤	500mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	
<331 血液代用剤>						[9M] リンゲル製剤					
40	ヴィーンF注	興和 = 興和創薬	酢酸リンゲル液	500mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						6.9	6.9	6.9	6.9	6.9	
41	ヴィーンD注	日研	酢酸リンゲル液 (ブドウ糖加)	500mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	
42	ラクテック注	大塚工場	乳酸リンゲル液	500mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						6.6	6.5	6.5	6.5	6.5	
43	ハルトマン液-ミドリ	菱山 - ミドリ十 字	乳酸リンゲル液	500mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						7.0	6.7	6.7	6.7	6.7	
44	ハルトマン液 pH:8-ミドリ	菱山 - ミドリ十 字	乳酸リンゲル液	500mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						8.0	8.0	7.9	7.9	7.9	
45	ラクテックG注	大塚工場	乳酸リンゲル液 (ソルビトール 加)	500mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						6.4	6.4	6.4	6.4	6.4	
46	低分子デキストランL注	大塚工場	乳酸リンゲル液 (デキストラン 40加) (1)	500mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						5.4	5.4	5.4	5.5	5.4	
47	ラクテックD注	大塚工場	乳酸リンゲル液 (ブドウ糖加)	250mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						4.9	4.9	4.8	4.9	4.9	
48	ポタコールR	大塚工場	乳酸リンゲル液 (マルトース 加)	500mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	
<331 血液代用剤>						[9T] その他の配合剤					
49	クリニザルツB	小林薬工	維持液 (キシリトール加) /血 液代用剤	500mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						5.7	5.7	5.6	5.6	5.7	
50	ヘスパンダー	杏林	ヒドロキシエチルデンプン配合 剤 / 血液代用剤	300mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						6.2	6.0	6.0	6.0	6.0	

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の / (溶解), + (希釈) の右側に記載の略号: D.W. は注射用水, Sal. は生理食塩液, Gul. はブドウ糖注射液, Sol. は添付溶解液を示す。

ナゼア注射液0.3mg 配合変化表 &lt;本剤の性状：無色澄明 pH：4.0～5.0&gt;

注) 遮光下に配合変化試験を実施したものには製品名の後に★を付した

掲載 番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	外観／pH／残存率					備考
						配合剤	配合後				
							配合直後	3時間	6時間	24時間	
<333 血液凝固阻止剤>						[4] ヘパリン製剤					
51	ノボ・ヘパリン注1000	持田	ヘパリンナトリウム	1万単位/10mL +Sal. 1,000mL	0.3mg/2mL	無色澄明 6.4	無色澄明 6.0	無色澄明 6.0	無色澄明 5.9	無色澄明 6.0	
<339 その他の血液・体液用薬>						[9i] その他					
52	グラン注射液150	キリン - 三共	フィルグラステム (遺伝子組換え)	300μg/1.2mL (2管)	0.3mg/2mL	無色澄明 4.1	無色澄明 4.3	無色澄明 4.3	無色澄明 4.3	微濁 4.3	配合薬剤の添付文書に「本剤を投与する場合は他剤との混注を行わないこと」と記載
52	グラン注射液150	キリン - 三共	フィルグラステム (遺伝子組換え)	300μg/1.2mL (2管) +Sal. 500mL	0.3mg/2mL	無色澄明 5.7	無色澄明 5.6	無色澄明 5.6	無色澄明 5.7	無色澄明 5.8	配合薬剤の添付文書に「本剤を投与する場合は他剤との混注を行わないこと」と記載
53	ロイコブロール	森永乳業 - ミドリ十字	ミリモステム	800万単位 /Sal. 20mL	0.3mg/2mL	無色澄明 7.3	無色澄明 7.3	無色澄明 7.3	無色澄明 7.3	無色澄明 7.3	配合薬剤の添付文書に「本剤は輸液以外の他剤と混合して投与しないこと」と記載
<391 肝臓疾患用剤>						[9L] グリチルリチン・グリシン・システイン剤					
54	強力ネオミノファーゲンシー	ミノファーゲン	グリチルリチン・グリシン・システイン配合剤	20mL	0.3mg/2mL	無色澄明 6.5	無色澄明 6.4	無色澄明 6.4	無色澄明 6.4	無色澄明 6.4	
<392 解毒剤>						[2] グルタチオン製剤					
55	タチオンバイアル (販売中止)	山之内	グルタチオン	600mg /D. W. 10mL	0.3mg/2mL	無色澄明 6.0	無色澄明 5.8	無色澄明 5.8	無色澄明 5.8	無色澄明 5.9	販売中止
<392 解毒剤>						[5] チオ硫酸ナトリウム製剤					
56	デトキソール	万有	チオ硫酸ナトリウム	2g/20mL	0.3mg/2mL	無色澄明 8.2	無色澄明 8.1	無色澄明 8.2	無色澄明 8.3	無色澄明 8.3	
<392 解毒剤>						[9i] その他					
57	メイロン84	大塚工場	炭酸水素ナトリウム	8.4% 50mL	0.3mg/2mL	無色澄明 8.0	無色澄明 8.1	無色澄明 8.2	無色澄明 8.2	無色澄明 8.4	
58	ウロミテキサン注400mg	塩野義	メスナ	400mg/4mL	0.3mg/2mL	無色澄明 7.4	無色澄明 7.4	無色澄明 7.4	無色澄明 7.4	無色澄明 7.4	
59	アイソボリン注25mg	ワイス - 武田	レボホリナートカルシウム	25mg /Sal. 500mL	0.3mg/2mL	無色澄明 6.2	無色澄明 6.1	無色澄明 6.1	無色澄明 6.1	無色澄明 6.1	
<399 他に分類されない代謝性医薬品>						[9i] その他					
60	ミラクリッド	持田	ウリナスタチン	10万単位 /Sal. 2mL	0.3mg/2mL	無色澄明 6.7	無色澄明 6.1	無色澄明 6.1	無色澄明 6.2	無色澄明 6.2	
<421 アルキル化剤>						[1] クロルエチルアミン系製剤					
61	注射用イホマイド1g	塩野義	イホスファミド	3g(3管) /D. W. 75mL	0.3mg/2mL	無色澄明 6.0	無色澄明 5.2	無色澄明 5.1	無色澄明 5.2	無色澄明 5.3	
61	注射用イホマイド1g	塩野義	イホスファミド	3g(3管) /Sal. 75mL	0.3mg/2mL	無色澄明 6.0	無色澄明 5.4	無色澄明 5.2	無色澄明 5.1	無色澄明 5.2	
62	注射用エンドキサン	塩野義	シクロホスファミド水和物	500mg /D. W. 25mL	0.3mg/2mL	無色澄明 4.0	無色澄明 4.3	無色澄明 4.0	無色澄明 4.1	無色澄明 3.4	

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の / (溶解), + (希釈) の右側に記載の略号: D. W. は注射用水, Sal. は生理食塩液, Gul. はブドウ糖注射液, Sol. は添付溶解液を示す。

## ナゼア注射液0.3mg 配合変化表 &lt;本剤の性状：無色澄明 p H：4.0～5.0&gt;

注) 遮光下に配合変化試験を実施したものには製品名の後に★を付した

掲載 番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	外観／pH／残存率					備考
						配合剤	配合後				
							配合直後	3時間	6時間	24時間	
<421 アルキル化剤>						[9i] その他					
63	ダカルバジン注協和	協和発酵	ダカルバジン	200mg(2管) /D.W. 20mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	淡赤色*	*ダカルバジン単独で24時間放置しても同様に外観色変化(淡赤色)
						3.5	3.6	3.6	3.6	3.6	
64	ニドラン注射用50mg	第一三共	ニムスチン塩酸塩	100mg(2管) /D.W. 20mL	0.3mg/2mL	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	
						3.9	4.1	3.7	3.5	3.1	
65	注射用サイメリン100mg	東京田辺	ラニムスチン	100mg /Sal. 10mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						5.7	4.6	3.8	3.8	3.1	
66	注射用サイメリン100mg★	東京田辺	ラニムスチン	100mg /Sal. 10mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	遮光保存
						6.2	5.7	5.0	4.6	4.0	
65	注射用サイメリン100mg	東京田辺	ラニムスチン	100mg /Sal. 10mL +Sal. 500mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						6.1	6.7	6.1	6.0	5.2	
<422 代謝拮抗剤>						[2] メトトレキサート製剤					
67	注射用メトトレキサート50mg	レダリー - 武田	メトトレキサート	50mg /D.W. 20mL	0.3mg/2mL	黄色澄明	黄色澄明	黄色澄明	黄色澄明	黄色澄明	
						7.7	7.2	7.2	7.1	7.1	
<422 代謝拮抗剤>						[3] フルオロウラシル系製剤					
68	注射用フトラフル400	大鵬薬品	テガフル	400mg /D.W. 10mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						9.9	9.9	9.9	9.9	9.9	
69	5-FU協和	協和発酵	フルオロウラシル	750mg/15mL (3管)	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						8.4	8.4	8.4	8.4	8.4	
<422 代謝拮抗剤>						[4] シトシン系製剤					
70	注射用サンラビン	旭化成	エノシタピン	150mg /D.W. 300mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						6.2	6.3	6.3	6.3	6.3	
71	ジェムザール注射用1g	リリー	ゲムシタピン塩酸塩	1g* /Sal. 25mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	*: 塩酸ゲムシタピンとして1140mg、ゲムシタピンとして1000mg
						3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	
72	キロサイド注	日本新薬	シタラビン	100mg/5mL +Sal. 250mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						8.7	5.9	6.2	6.1	6.0	
72	キロサイド注	日本新薬	シタラビン	100mg/5mL +5%GuI. 250mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						8.7	5.6	5.6	5.6	5.6	
<423 抗腫瘍性抗生物質製剤>						[1] マイトマイシンC製剤					
73	マイトマイシン協和S	協和発酵	マイトマイシンC	26mg(13瓶) /D.W. 65mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						6.5	5.9	6.1	6.1	6.3	
<423 抗腫瘍性抗生物質製剤>						[3] アクチノマイシンD製剤					
74	コスメゲン	万有	アクチノマイシンD	0.5mg /D.W. 1.1mL	0.3mg/2mL	黄澄澄明	黄澄澄明	黄澄澄明	黄澄澄明	黄澄澄明	
						6.0	4.6	4.6	4.6	4.6	

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の/(溶解), +(希釈)の右側に記載の略号: D.W.は注射用水, Sal.は生理食塩液, GuI.はブドウ糖注射液, Sol.は添付溶解液を示す。

ナゼア注射液0.3mg 配合変化表 &lt;本剤の性状：無色澄明 pH：4.0～5.0&gt;

注) 遮光下に配合変化試験を実施したものは製品名の後に★を付した

掲載 番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	外観／pH／残存率				備考	
						配合剤	配合後				
							配合直後	3時間	6時間		24時間
<423 抗腫瘍性抗生物質製剤>						[4] ブレオマイシン系製剤					
75	ブレオ (販売中止)	日本化薬	ブレオマイシン塩酸塩	30mg /Sal. 240mL	0.3mg/2mL	無色澄明 5.8	無色澄明 5.6 100.0	無色澄明 5.4 103.4	無色澄明 5.7 105.3	無色澄明 5.5 105.1	販売中止
75	ブレオ (販売中止)	日本化薬	ブレオマイシン塩酸塩	30mg /5%GuI. 240mL	0.3mg/2mL	無色澄明 4.5	無色澄明 4.6 100.0	無色澄明 5.0 101.0	無色澄明 4.6 99.9	無色澄明 4.6 99.1	販売中止
76	ペブレオ注5mg	日本化薬	ペプロマイシン硫酸塩	10mg (2管) /Sal. 240mL	0.3mg/2mL	無色澄明 5.5	無色澄明 5.1 100.0	無色澄明 5.4 99.3	無色澄明 5.4 98.9	無色澄明 5.4 98.9	
76	ペブレオ注5mg	日本化薬	ペプロマイシン硫酸塩	10mg (2管) /5%GuI. 240mL	0.3mg/2mL	無色澄明 4.7	無色澄明 4.8 100.0	無色澄明 4.7 99.4	無色澄明 4.6 99.5	無色澄明 4.7 97.8	
<423 抗腫瘍性抗生物質製剤>						[5] アントラサイクリン系抗生物質製剤					
77	アクラシノン注射用	メルシャン - 山之内	アクラルピシン塩酸塩	20mg /D. W. 10mL	0.3mg/2mL	黄色澄明 5.6	黄色澄明 4.7 100.0	黄色澄明 5.0 100.4	黄色澄明 5.0 99.5	黄色澄明 5.2 98.7	
78	カルセド注射用50mg	住友製薬	アムルピシン塩酸塩	50mg /Sal. 20mL	0.3mg/2mL	黄赤色澄明 2.9	黄赤色澄明 3.1 100.0	黄赤色澄明 3.1 100.9	黄赤色澄明 3.1 100.6	黄赤色澄明 3.1 100.2	
79	イダマイシン注	ファルマシア - 協和発酵	イダルピシン塩酸塩	20mg (5管) /D. W. 20mL	0.3mg/2mL		黄赤色澄明 4.7 100.0	黄赤色澄明 4.7 100.4	黄赤色澄明 4.8 100.4	黄赤色澄明 4.7 100.4	
80	ファルモルピシン注	ファルマシア - 協和発酵	エピルピシン塩酸塩	90mg (9管) /Sal. 225mL	0.3mg/2mL	赤橙色澄明 5.7	赤橙色澄明 5.4 100.0	赤橙色澄明 5.5 98.3	赤橙色澄明 5.4 99.9	赤橙色澄明 5.5 100.4	
80	ファルモルピシン注	ファルマシア - 協和発酵	エピルピシン塩酸塩	90mg (9管) /5%GuI. 225mL	0.3mg/2mL	赤橙色澄明 4.8	赤橙色澄明 4.8 100.0	赤橙色澄明 4.9 103.1	赤橙色澄明 4.9 99.1	赤橙色澄明 4.9 97.3	
81	ダウノマイシン	明治製薬	ダウノルピシン塩酸塩	60mg (3管) /Sal. 100mL	0.3mg/2mL		赤色澄明 5.1 100.0	赤色澄明 5.1 100.1	赤色澄明 5.1 100.1	赤色澄明 5.1 100.8	
81	ダウノマイシン	明治製薬	ダウノルピシン塩酸塩	100mg (5管) /Sal. 100mL	0.3mg/2mL		赤色澄明 5.4 100.0	赤色澄明 5.4 100.9	赤色澄明 5.4 100.1	赤色澄明 5.4 100.1	
82	アドリアシン注	協和発酵	ドキソルピシン塩酸塩	30mg (3管) /Sal. 30mL	0.3mg/2mL	赤橙色澄明 6.9	赤橙色澄明 5.4 100.0	赤橙色澄明 5.5 97.6	赤橙色澄明 5.8 98.7	赤橙色澄明 5.7 97.6	
83	ピノルビン注	メルシャン - 日本化薬	ピラルピシン塩酸塩	60mg* (3管) /5%GuI. 240mL	0.3mg/2mL	赤橙色澄明 5.5	赤橙色澄明 5.5 100.0	赤橙色澄明 5.5 99.0	赤橙色澄明 5.5 99.8	赤橙色澄明 5.6 101.3	* : ピラルピシンとして60mg

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の / (溶解), + (希釈) の右側に記載の略号 : D. W. は注射用水, Sal. は生理食塩液, GuI. はブドウ糖注射液, Sol. は添付溶解液を示す。

## ナゼア注射液0.3mg 配合変化表 &lt;本剤の性状：無色澄明 p H：4.0～5.0&gt;

注) 遮光下に配合変化試験を実施したものは製品名の後に★を付した

掲載 番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	外観／pH／残存率					備考
						配合剤	配合後				
							配合直後	3時間	6時間	24時間	
<424 抗腫瘍性植物成分製剤>						[0] その他					
84	トポテシン注	第一製薬	イリノテカン塩酸塩水和物	100mg/5mL	0.3mg/2mL	淡黄色澄明	淡黄色澄明	淡黄色澄明	淡黄色澄明	淡黄色澄明	
						3.6	3.8	3.8	3.8	3.9	
							100.0	99.6	99.5	98.5	
85	ラストット注	日本化薬	エトポシド	100mg/5mL +Sal. 250mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						3.8	3.9	3.9	3.9	3.9	
							100.0	99.7	99.6	99.4	
85	ラストット注	日本化薬	エトポシド	100mg/5mL +5%GuI. 250mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						3.8	3.9	4.0	3.9	3.9	
							100.0	98.5	97.8	98.3	
86	タキソテール注	アベンティス	ドセタキセル水和物	80mg*/2mL +Sol. 6mL +Sal. 500mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	配合薬剤の添付文書に「他剤との混注は行わないこと」と記載 *：ドセタキセル水和物として85.35mg/ドセタキセルとして80mg
						4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	
							100.0	99.2	99.5	101.0	
87	ハイカムチン注射用	日本化薬	ノギテカン塩酸塩	1.1mg* /Sal. 100mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	*：塩酸ノギテカンとして1.2mg/ノギテカンとして1.1mg
						3.7	3.8	3.8	3.8	3.8	
							100.0	98.2	98.5	98.6	
88	タキソール注	ブリistol	パクリタキセル	100mg/16.7mL +Sal. 500mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	配合薬剤の添付文書に「本剤は5%ブドウ糖注射液及び生理食塩液を除く 他の薬剤とは混注しないこと」と記載
						5.9	5.8	5.8	5.8	5.8	
							100.0	101.4	100.7	100.6	
89	ナベルピン注40	協和発酵	ピノレルピン酒石酸塩	40mg*/4mL +Sal. 50mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	*：酒石酸ピノレルピンとして55.4mg、ピノレルピンとして40mg
						3.6	3.7	3.7	3.7	3.7	
							100.0	100.8	98.9	101.0	
90	オンコピン	リリー - 塩野義	ピンクリスチン硫酸塩	9mg (9管) /Sal. 225mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						5.0	5.0	5.1	5.0	5.1	
							100.0	100.6	101.2	99.4	
90	オンコピン	リリー - 塩野義	ピンクリスチン硫酸塩	9mg (9管) /5%GuI. 225mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						4.5	4.6	4.7	4.7	4.8	
							100.0	99.2	100.4	97.7	
91	注射用フィルデシン3mg	塩野義	ビンデシン硫酸塩	3mg /Sal. 3mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						4.7	4.6	4.6	4.6	4.6	
							100.0	100.9	100.5	103.0	
92	エクザール	リリー - 塩野義	ビンプラスチン硫酸塩	20mg (2管) /D. W. 20mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						4.3	4.6	4.6	4.7	4.6	
							100.0	98.6	100.5	99.6	
92	エクザール	リリー - 塩野義	ビンプラスチン硫酸塩	20mg (2管) /Sal. 20mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						4.4	4.6	4.5	4.5	4.6	
							100.0	100.5	101.3	99.9	

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の / (溶解), + (希釈) の右側に記載の略号: D. W. は注射用水, Sal. は生理食塩液, GuI. はブドウ糖注射液, Sol. は添付溶解液を示す。

ナゼア注射液0.3mg 配合変化表 &lt;本剤の性状：無色澄明 p H：4.0～5.0&gt;

注) 遮光下に配合変化試験を実施したものは製品名の後に★を付した

掲載 番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	外観／pH／残存率					備考
						配合剤	配合後				
							配合直後	3時間	6時間	24時間	
<429 その他の抗腫瘍用薬>						[1] その他の抗悪性腫瘍剤					
93	ロイナーゼ注	協和発酵	L-アスパラギナーゼ	1万K単位 /Sal. 10mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						7.0	5.8	5.8	5.8	5.9	
							100.0	99.3	99.2	99.1	
94	パラプラチン注射液	BMS	カルボプラチン	600mg/60mL (4管) +Sal. 240mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						6.0	5.7	6.0	6.2	6.4	
							100.0	100.1	100.0	97.2	
94	パラプラチン注射液	BMS	カルボプラチン	600mg/60mL (4管) +5%GuI. 240mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						6.0	5.0	5.2	5.3	5.6	
							100.0	97.7	96.3	92.0	
95	ブリプラチン注	BMS	シスプラチン	150mg/300mL (3管) +Sal. 600mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						2.5	3.1	3.1	3.1	3.1	
							100.0	98.4	102.2	99.4	
95	ブリプラチン注	BMS	シスプラチン	150mg/300mL (3管) + (Sal. 300mL+5%GuI. 300mL)	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						2.5	3.0	3.1	3.1	3.1	
							100.0	99.3	102.0	98.8	
96	ランダ注	日本化薬	シスプラチン	150mg/300mL (3管) + (Sal. 300mL+5%GuI. 300mL)	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						3.6	4.6	4.7	4.7	4.9	
							100.0	101.7	102.0	100.4	
96	ランダ注	日本化薬	シスプラチン	150mg/300mL (3管) + (Sal. 300mL+5%GuI. 300mL)	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						3.6	4.2	4.3	4.3	4.3	
							100.0	99.9	102.0	100.4	
97	アクブラ静注用100mg	塩野義	ネダプラチン	100mg /Sal. 300mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
							7.3	7.3	7.3	7.3	
							100.0		97.7	95.4	
98	ノバントロン注	レダリー - 武田	ミトキサントロン塩酸塩	20mg/10mL +Sal. 250mL	0.3mg/2mL	濃青色澄明	濃青色澄明	濃青色澄明	濃青色澄明	濃青色澄明	*: 塩酸ミトキサントロンとして23.3mg/ミトキサントロンとして20mg
						3.3	4.2	4.2	4.2	4.4	
							100.0	103.3	100.4	99.4	
98	ノバントロン注	レダリー - 武田	ミトキサントロン塩酸塩	20mg/10mL +5%GuI. 250mL	0.3mg/2mL	濃青色澄明	濃青色澄明	濃青色澄明	濃青色澄明	濃青色澄明	*: 塩酸ミトキサントロンとして23.3mg/ミトキサントロンとして20mg
						3.3	4.2	4.2	4.1	4.2	
							100.0	101.8	101.0	97.2	
<441 抗ヒスタミン剤>						[9i] その他					
99	ボラミン注5mg	シェリングプラウ	d-クロルフェニラミンマレイン酸塩	5mg/1mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						4.9	4.7	4.7	4.7	4.7	
							100.0	99.5	100.2	99.9	
100	クロール・トリメトン注10mg	シェリングプラウ	クロルフェニラミンマレイン酸塩	10mg/1mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						4.9	4.7	4.7	4.7	4.7	
							100.0	99.9	99.9	100.0	
<611 主としてグラム陽性菌に作用するもの>						[2] リンコマイシン系抗生物質製剤					
101	ダラシンS注射液	アップジョン	クリンダマイシンリン酸エステル	600mg/4mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	
							100.0	98.5	99.3	98.3	
<611 主としてグラム陽性菌に作用するもの>						[3] バンコマイシン製剤					
102	塩酸バンコマイシン点滴静注用0.5g	リリー - 塩野義	バンコマイシン塩酸塩	0.5g /D.W. 10mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						3.5	3.7	3.7	3.7	3.7	
							100.0	101.6	100.3	100.5	
<611 主としてグラム陽性菌に作用するもの>						[9i] その他					
103	ハベカシン注射液	明治製菓	アルベカシン硫酸塩	100mg/2mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						6.9	6.8	6.7	6.8	6.6	
							100.0	98.8	100.0	99.2	

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の / (溶解), + (希釈) の右側に記載の略号: D.W. は注射用水, Sal. は生理食塩液, GuI. はブドウ糖注射液, Sol. は添付溶解液を示す。

## ナゼア注射液0.3mg 配合変化表 &lt;本剤の性状：無色澄明 pH：4.0～5.0&gt;

注) 遮光下に配合変化試験を実施したものは製品名の後に★を付した

掲載 番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	外観／pH／残存率					備考
						配合剤	配合後				
							配合直後	3時間	6時間	24時間	
<612 主としてグラム陰性菌に作用するもの>						[3] アミノ糖系抗生物質製剤					
104	硫酸アミカシン注射液「萬有」100mg	万有	アミカシン硫酸塩	200mg/2mL (2管)	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						6.8	6.7	6.7	6.7	6.6	
105	イセパシン注射液400	シェリングプラウ	イセパマイシン硫酸塩	400mg/2mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						7.0	6.9	7.0	7.0	7.0	
<613 主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの>						[1] ペニシリン系抗生物質製剤					
106	注射用ピクシリン	明治製菓	アンピシリンナトリウム	1g /D. W. 10mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						9.5	9.2	9.0	8.8	8.3	
106	注射用ピクシリン	明治製菓	アンピシリンナトリウム	1g /D. W. 10mL +Sal. 500mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						8.9	8.8	8.6	8.5	8.4	
107	ペントシリン注射用2g	富山 = 三共	ピペラシリンナトリウム	2g /D. W. 10mL +Sal. 500mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						5.8	5.8	5.7	5.5	5.2	
<613 主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの>						[2] セフェム系抗生物質製剤					
108	セファメジン注射用★	藤沢	セファゾリンナトリウム	2g /D. W. 20mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	遮光保存
						5.3	5.2	5.2	5.1	5.4	
108	セファメジン注射用★	藤沢	セファゾリンナトリウム	2g /D. W. 20mL +Sal. 500mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	遮光保存
						5.4	5.3	5.4	5.4	5.6	
109	パンスポリン静注用1g	武田	セフォチアム塩酸塩	1g /D. W. 10mL	0.3mg/2mL	淡黄色澄明	淡黄色澄明	淡黄色澄明	淡黄色澄明	淡黄色澄明	
						6.7	6.8	7.1	7.2	7.1	
110	モダシン静注用	グラクソ = 田辺製薬	セフトジジム水和物	1g /D. W. 10mL	0.3mg/2mL	淡黄色澄明	淡黄色澄明	淡黄色澄明	淡黄色澄明	淡黄色澄明	
						6.3	6.5	7.4	7.9	7.9	
110	モダシン静注用	グラクソ = 田辺製薬	セフトジジム水和物	1g /D. W. 10mL +Sal. 500mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						6.4	6.2	6.6	6.5	6.6	
111	セフメタゾン静注用1g★	三共	セフメタゾールナトリウム	1g /D. W. 10mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	遮光保存
						5.0	4.9	4.7	4.4	4.3	
<613 主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの>						[3] オキサセフェム系抗生物質製剤					
112	フルマリン静注用1g	塩野義	フロモキセフナトリウム	1g /D. W. 10mL	0.3mg/2mL	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	
						4.8	4.8	5.2	5.4	5.7	
112	フルマリン静注用1g	塩野義	フロモキセフナトリウム	1g /D. W. 10mL +Sal. 500mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						4.8	4.8	5.1	5.1	5.2	
<613 主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの>						[5] ホスホマイシン製剤					
113	静注用ホスミシンS	明治製菓	ホスホマイシンナトリウム	2g /D. W. 20mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						7.4	7.3	7.4	7.4	7.2	
113	静注用ホスミシンS	明治製菓	ホスホマイシンナトリウム	2g /5%GuI. 20mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						7.3	7.3	7.3	7.4	7.3	

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の / (溶解), + (希釈) の右側に記載の略号: D. W. は注射用水, Sal. は生理食塩液, GuI. はブドウ糖注射液, Sol. は添付溶解液を示す。

## ナゼア注射液0.3mg 配合変化表 &lt;本剤の性状：無色澄明 p H：4.0～5.0&gt;

注) 遮光下に配合変化試験を実施したものは製品名の後に★を付した

掲載 番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	外観／pH／残存率					備考
						配合剤	配合後				
							配合直後	3時間	6時間	24時間	
<613 主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの>						[9J] 配合剤					
114	チエナム点滴用	萬有	イミペネム水和物・シラスタチンナトリウム	500mg /Sal. 100mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	微黄色澄明	
						7.6	7.3	7.3	7.2	6.8	
114	チエナム点滴用	萬有	イミペネム水和物・シラスタチンナトリウム	500mg /Sal. 100mL +Sal. 500mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						7.5	7.4	7.4	7.3	6.9	
115	ユナシン-S 静注用1.5g	ファイザー	スルバクタムナトリウム (0.5g)・アンピシリンナトリウム (1g)	1.5g /D. W. 10mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						9.3	9.1	8.7	8.6	8.3	
115	ユナシン-S 静注用1.5g	ファイザー	スルバクタムナトリウム (0.5g)・アンピシリンナトリウム (1g)	1.5g /D. W. 10mL +Sal. 500mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						9.2	9.2	8.7	8.6	8.3	
116	スルペラゾン静注用1g	ファイザー	スルバクタムナトリウム (0.5g)・セフォペラゾンナトリウム (0.5g)	1g /Sal. 20mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						4.9	4.8	4.8	4.6	4.5	
117	カルベニン点滴用0.5g	三共	パニペネム(0.5g)・ベタミプロン(0.5g)	0.5g /Sal. 100mL	0.3mg/2mL	無色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	微黄色澄明	黄色澄明	
						7.1	6.9	6.7	6.5	6.0	
117	カルベニン点滴用0.5g	三共	パニペネム(0.5g)・ベタミプロン(0.5g)	0.5g /Sal. 100mL +Sal. 500mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	微黄色澄明	
						7.3	6.8	6.6	6.4	5.8	
<615 主としてグラム陽性・陰性菌，リケッチア，クラミジアに作用するもの>						[2] テトラサイクリン系抗生物質製剤					
118	点滴静注用ミノマイシン★	レダリー	ミノサイクリン塩酸塩	100mg /D. W. 5mL	0.3mg/2mL	黄色澄明	黄色澄明	黄色澄明	黄色澄明	黄色澄明	遮光保存
						2.3	2.6	2.6	2.6	2.6	
<617 主としてカビに作用するもの>						[9i] その他					
119	ファンガード点滴用75mg	アステラス	ミカファンギンナトリウム	75mg /Sal. 10mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						5.8	4.8	4.8	4.8	4.8	
<625 抗ウイルス剤>						[0i] その他					
120	点滴静注用ゾピラックス	住友製薬 = ウェルカム	アシクロビル	250mg /D. W. 100mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						10.7	10.6	10.5	10.5	10.4	
<629 その他の化学療法剤>						[0i] その他					
121	ジフルカン静注液0.2%	ファイザー	フルコナゾール	100mg/50mL	0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
						6.3	4.9	4.9	5.0	5.1	

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の / (溶解), + (希釈) の右側に記載の略号: D. W. は注射用水, Sal. は生理食塩液, Gul. はブドウ糖注射液, Sol. は添付溶解液を示す。

## ナゼア注射液0.3mg 単剤配合

### 試験方法

#### 〔1〕 配合方法

本剤と配合剤の配合方法は、表に示す「本剤の使用量」「配合剤の使用量」に示す比率にて配合した。

#### 〔2〕 保存条件および試験項目

##### 1) 保存条件

本剤と配合剤を配合した後、原則として室温散光にて保存した。(遮光保存した場合は製品名に★を付し、備考欄に遮光保存と記載)

##### 2) 試験項目

外観： 配合直後、3時間、6時間、24時間後に 目視にて外観の変化を観察した。

pH： 配合直後、3時間、6時間、24時間後に 日局一般試験法 pH試験法 に準じてpHを測定した。

含量および残存率： 配合直後、3時間、6時間、24時間後に 配合溶液中のラモセトロン塩酸塩(本剤の薬効成分)含量を液体クロマトグラフ法により測定した。

更に測定含量に基づき、配合直後の含量を100%とした残存率を算定した。

ただし、配合後に外観変化が認められた場合、以後の定量を実施せず。

ナゼア注射液0.3mg 配合変化表（多剤配合）

<本剤の性状：無色透明 pH：4.0~5.0>

掲載番号	輸液名	配合剤名	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の使用量	本剤の使用量	外観／pH／残存率					備考
								配合剤	配合後				
									配合直後	3時間	6時間	24時間	
1	アクチット注	ビタメジン静注用	ナゼア注射液0.3mg	山之内	ラモセトロン塩酸塩		0.3mg/2mL		淡紅色澄明	淡紅色澄明	淡紅色澄明	淡紅色澄明	配合方法： ビタメジン静注用1瓶をアクチット注(500mL)に溶解した後、本剤1管(0.3mg/2mL)を配合した。
			5.3	5.3	5.3	5.3							
			100.0		100.2	100.3							
			アクチット注	日研	酢酸維持液(1)	500mL							
			ビタメジン静注用	三共	リン酸チアミンジスルフィド・B6・B12配合剤	1瓶							
2	ソリターT3号	トポテシン注	ナゼア注射液0.3mg	山之内	ラモセトロン塩酸塩		0.3mg/2mL		無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	配合方法： 本剤1管(0.3mg/2mL)にトポテシン注(40mg/2mL)を混合し、これにソリターT3号(500mL)を配合した。
			5.1	5.1	5.1	5.1							
			100.0		101.5	100.6							
			ソリターT3号	清水 - 武田	維持液(3)ノ乳酸ナトリウム・無機塩類・糖類剤	500mL							
			トポテシン注	第一製薬	イリノテカン塩酸塩水和物	100mg/5mL							
3	トリパレン1号	アミパレン	ナゼア注射液0.3mg	山之内	ラモセトロン塩酸塩		0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	配合方法： トリパレン1号(600mL)にアミパレン(300mL)を加えて混和した後、本剤1管(0.3mg/2mL)を配合した。
			4.5	5.9	5.8	5.8	5.8						
			100.0	100.3	99.8	99.1							
			トリパレン1号	大塚工場	高カロリー輸液用基本液(4-1)	600mL							
			アミパレン	大塚工場	高カロリー輸液用総合アミノ酸製剤(4)	300mL							
4	トリパレン2号	アミパレン	ナゼア注射液0.3mg	山之内	ラモセトロン塩酸塩		0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	配合方法： トリパレン2号(600mL)にアミパレン(200mL)を加えて混和した後、本剤1管(0.3mg/2mL)を配合した。
			4.5	5.9	5.8	5.8	5.7						
			100.0	96.6	99.4	100.7							
			トリパレン2号	大塚工場	高カロリー輸液用基本液(4-2)	600mL	無色澄明						
			アミパレン	大塚工場	高カロリー輸液用総合アミノ酸製剤(4)	200mL	無色澄明						

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の/(溶解)、+(希釈)の右側に記載の略号：D.W.は注射用水、Sal.は生理食塩液、Gul.はブドウ糖注射液、Sol.は添付溶解液を示す。

D.W.：日局注射用水 Sal.：日局生理食塩液 Sol.：製品に添付の溶解液 Gul.：日局ブドウ糖注射液

なお、本剤および配合剤の使用量が1単位でないものには数値欄に網掛を施した。

ナゼア注射液0.3mg 配合変化表 (多剤配合)

<本剤の性状：無色澄明 pH：4.0~5.0>

掲載 番号	輸液名	配合剤 名	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	外観／pH／残存率					備考	
								配合剤	配合後					
									配合直後	3時間	6時間	24時間		
5	/	ガ デ ス タ ー 注 射 液 注 射 液	ナゼア注射液0.3mg	アステラス	ラモセトロン塩酸塩		0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明		
								4.5	6.9	6.9	6.9	6.9		
									100.0	99.7	99.5	100.1		
			ガスター注射液20mg	アステラス	ファモチジン	50mg/1mL		無色澄明	配合方法： デカドロン注射液(4mg/1mL) 5管(20mg/5mL)を大塚生食注(50mL)にて希釈した後、 ガスター注射液20mg 1管(20mg/2mL)を加えて混合し、 更に本剤1管(0.3mg/2mL)を配合した。 ※デカドロン注射液5管を大塚生食注50mLで希釈した溶液の値を記載。 *：リン酸デキサメタゾンとして20mg(デキサメタゾン16.5mgに相当)					
								6.0						
デカドロン注射液	万有	デキサメタゾンリン酸エステルナトリウム	20mg*/5mL +Sal. 50mL (5管)		無色澄明※									
						7.7※								
6	/	液 ア タ ラ ク ス ー 注 射 液	ナゼア注射液0.3mg	アステラス	ラモセトロン塩酸塩		0.3mg/2mL	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明		
								4.5	7.0	7.0	7.0	7.0		
									100.0	100.2	99.2	99.8		
			アタラックスーP注射液(50mg/ml)	ファイザー	ヒドロキシジン塩酸塩	20mg/2mL		無色澄明	配合方法： デカドロン注射液 [(8mg/2mL)2管および(2mg/0.5mL)2管] (20mg/5mL)を大塚生食注(50mL)にて希釈した後、 アタラックスーP注射液1管(50mg/1mL)を加えて混合し、 更に本剤1管(0.3mg/2mL)を配合した。 *：リン酸デキサメタゾンとして20mg(デキサメタゾン16.5mgに相当)					
								4.2						
デカドロン注射液	万有	デキサメタゾンリン酸エステルナトリウム	20mg*/5mL +Sal. 50mL		無色澄明									
						7.8								

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の/(溶解), +(希釈)の右側に記載の略号：D.W.は注射用水, Sal.は生理食塩液, Gul.はブドウ糖注射液, Sol.は添付溶解液を示す。

D.W.：日局注射用水 Sal.：日局生理食塩液 Sol.：製品に添付の溶解液 Gul.：日局ブドウ糖注射液

なお、本剤および配合剤の使用量が1単位でないものには数値欄に網掛を施した。

## ナゼア注射液0.3mg 多剤配合

### 試験方法

#### [1] 配合方法

本剤と配合剤の配合方法は、表に示す「本剤の使用量」「配合剤の使用量」に示す比率にて配合した。

#### [2] 保存条件および試験項目

##### 1) 保存条件

本剤と配合剤を配合した後、原則として室温散光にて保存した。(遮光保存した場合は製品名に★を付し、備考欄に遮光保存と記載)

##### 2) 試験項目

外観： 配合直後、3時間、6時間、24時間後に 目視にて外観の変化を観察した。

pH： 配合直後、3時間、6時間、24時間後に 日局一般試験法 pH試験法 に準じてpHを測定した。

含量および残存率： 配合直後、3時間、6時間、24時間後に 配合溶液中のラモセトロン塩酸塩(本剤の薬効成分)含量を液体クロマトグラフ法により測定した。

更に測定含量に基づき、配合直後の含量を100%とした残存率を算定した。

ただし、配合後に外観変化が認められた場合、以後の定量を実施せず。

★：遮光条件で試験実施

	製品名（2014年4月現在）	掲載されている製品名	掲載番号	
あ行	アイソポリン点滴静注用25mg	アイソポリン注25mg	59	
	アクブラ静注用100mg	同左	97	
	アクラシノン注射用	同左	77	
	アスバラカリウム注10mEq	アスバラK注射液	23	
	アタラックスP注射液(50mg/ml)	同左	1	
	アドリアシン注用10	アドリアシン注	82	
	アミカシン硫酸塩注射液100mg「日医工」	硫酸アミカシン注射液「萬有」100mg	104	
	アミカリック輸液	アミカリック★	30	
	アミノフリード輸液	アミノフリード	31	
	アミノレバン点滴静注	アミノレバン	28	
	アルタット静注用75mg	アルタット注75	13	
	アレリックス6mg注★	同左	6	
	E L-3号輸液	E L-3号	37	
	10% E L-3号輸液	10% E L-3号	39	
	イセパシン注射液400	同左	105	
	イダマイシン注	同左	79	
	ヴィーンD輸液	ヴィーンD注	41	
	ヴィーンF輸液	ヴィーンF注	40	
	ウロミテキサン注400mg	同左	58	
	エクザール注射用10mg	エクザール	92	
	塩酸バンコマイシン点滴静注用0.5g	同左	102	
	大塚生食注	同左	32	
	オンコピン注射用1mg	オンコピン	90	
	か行	ガスター注射液20mg	同左	11
カルセド注射用50mg		同左	78	
カルベニン点滴用0.5g		同左	117	
キシリトール注「キョーリン」5%(販売中止)		同左	27	
強力ネオミノファーゲンシー静注20mL		強力ネオミノファーゲンシー	54	
キロサイド注100mg		キロサイド注	72	
グラン注射液150		同左	52	
クリニザルツ輸液		クリニザルツB	49	
クロール・トリメトン注10mg		同左	100	
KNMG3号輸液		KN補液MG3号	38	
高単位アスコルチン注射液500mg(販売中止)		高単位アスコルチン注射液(販売中止)	21	
コスメゲン静注用0.5mg		コスメゲン	74	
小林糖液5%		同左	24	
さ行		サクシゾン注射用100mg	サクシゾン	16
		サリンヘス輸液6%	サリンヘス	33
		ザンタック注射液50mg	同左	12
	ジェムザール注射用1g	同左	71	
	ジフルカン静注液100mg	ジフルカン静注液0.2%	121	
	静注用マグネゾール20mL	マグネゾール	3	
	水溶性ブレドニン20mg	同左	19	
	スルペラゾン静注用1g	同左	116	
	セファメジンα注射用	セファメジン注射用★	108	
	セフメタゾン静注用1g★	同左	111	
	ゾピラックス点滴静注用250	点滴静注用ゾピラックス	120	
	ソリターT3号輸液	ソリターT3号	34	
	ソル・コーテフ注射用100mg	ソル・コーテフ	15	

	製品名（2014年4月現在）	掲載されている製品名	掲載番号
さ行	ソル・メドロール静注用500mg	ソル・メドロール500	20
	ソルダクトン静注用200mg	ソルダクトン200mg	4
	ソルデム3A輸液	ソルデム3A	35
た行	ダイアモックス注射用500mg	注射用ダイアモックス	5
	ダウノマイシン静注用20mg	ダウノマイシン	81
	タガメット注射液200mg	同左	10
	ダカルバジン注用100	ダカルバジン注協和	63
	タキソール注射液100mg	タキソール注	88
	タキソテール点滴静注用80mg	タキソテール注	86
	タチオンバイアル(販売中止)	同左	55
	ダラシンス注射液600mg	ダラシンス注射液	101
	チエナム点滴静注用0.5g	チエナム点滴用	114
	注射用イホマイド1g	同左	61
	注射用エンドキサン100mg	注射用エンドキサン	62
	注射用サイメリン100mg	同左	65
	注射用サイメリン100mg★	同左	66
	注射用サンラビン	同左	70
	注射用フィルデシン3mg	同左	91
	注射用トラフルール400	同左	68
	注射用メソトレキセート50mg	同左	67
	低分子デキストランL注	同左	46
	デカドロン注射液3.3mg	デカドロン注射液	17
	デトキソール静注液2g	デトキソール	56
テルモ果糖注5%(販売中止)	テルモ果糖注★(販売中止)	25	
トボテシン点滴静注100mg	トボテシン注	84	
な行	ナベルピン注40	同左	89
	ニドラン注射用50mg	同左	64
	ノバントロン注20mg	ノバントロン注	98
	ノボ・ヘパリン注1万単位/10mL	ノボ・ヘパリン注1000	51
	は行	ハイカムチン注射用1.1mg	ハイカムチン注射用
ハベカシン注射液100mg		ハベカシン注射液	103
パラプラチン注射液150mg		パラプラチン注射液	94
ハルトマン輸液 pH:8「NP」		ハルトマン液 pH:8-ミドリ	44
ハルトマン輸液「NP」		ハルトマン液-ミドリ	43
パンスポリン静注用1g		同左	109
ピクシリン注射用1g		注射用ピクシリン	106

	製品名（2014年4月現在）	掲載されている製品名	掲載番号	
は行	ビタメジン静注用	同左	22	
	ピノルビン注射用10mg	ピノルビン注	83	
	5-FU注250mg	5-FU協和	69	
	ファルモルビシン注	同左	80	
	ファンガード点滴用75mg	同左	119	
	フィジオゾール3号輸液	フィジオゾール・3号	36	
	ブスコパン注20mg	同左	2	
	プラスアミノ輸液	プラスアミノ	29	
	プリプラチン注50mg	プリプラチン注	95	
	プリンペラン注射液10mg	プリンペラン注射液	14	
	10%フルクトン注(販売中止)	同左	26	
	フルマリン静注用1g	同左	112	
	プレオ注射用30mg	プレオ(販売中止)	75	
	ヘスバンダー輸液	ヘスバンダー	50	
	ペブレオ注5mg	同左	76	
	ペントシリン注射用2g	同左	107	
	ホスミシンS静注用2g	静注用ホスミシンS	113	
	ポタコールR輸液	ポタコールR	48	
	ポラミン注5mg	同左	99	
	ま行	マイトマイシン注用2mg	マイトマイシン協和S	73
		ミノマイシン点滴静注用100mg	点滴静注用ミノマイシン★	118
		ミラクリッド	同左	60
メイロン静注8.4%		メイロン84	57	
モダシン静注用1g	モダシン静注用	110		
や行	ユナシン-S静注用1.5g	同左	115	
	ら行	ラクテックD輸液	ラクテックD注	47
ラクテックG輸液		ラクテックG注	45	
ラクテック注		同左	42	
ラシックス注100mg		同左	9	
ラシックス注20mg		同左	8	
ラステット注100mg/5mL		ラステット注	85	
ランダ注50mg/100mL		ランダ注	96	
リンデロン注2mg(0.4%)		リンデロン注	18	
ルネトロン注射液0.5mg		ルネトロン注射液	7	
ロイコブロール		同左	53	
ロイナーゼ注用5000	ロイナーゼ注	93		

<多剤配合>

輸液名		配合薬剤	
製品名（2014年4月現在）	掲載されている製品名	製品名（2014年4月現在）	掲載されている製品名
アクテット輸液	アクテット注	ビタメジン静注用	同左
ソリターT3号輸液	ソリターT3号	トボテシン点滴静注100mg	トボテシン注
トリバレン1号輸液	トリバレン1号	アミバレン輸液	アミバレン
トリバレン2号輸液	トリバレン2号	アミバレン輸液	アミバレン

配合薬剤①		配合薬剤②	
製品名（2014年4月現在）	掲載されている製品名	製品名（2014年4月現在）	掲載されている製品名
アタラックスP注射液(50mg/ml)	同左	デカドロン注射液3.3mg	デカドロン注射液
ガスター注射液20mg	同左	デカドロン注射液3.3mg	デカドロン注射液

5-HT<sub>3</sub>受容体拮抗型制吐剤

# ナゼア注射液0.3mg

ラモセトロン塩酸塩注射液

一般名又は成分 単位/容量	投与方法	用時 溶解	規格 pH域	試料 pH	(A) N/10HCl (B) N/10NaOH	変化点pH 又は最終pH	移動 指数	変化所見	希釈試験								浸透圧比 (約)
									20mL				500mL				
									0	30min	1hr	3hr	0	30min	1hr	3hr	
ラモセトロン塩酸塩 0.3mg/2mL	静		4.0~5.0	4.53	(A) 10.0	1.19	3.34	変化なし									1
					(B) 10.0	12.66	8.13	変化なし									

参考文献) 幸保文治: 医薬ジャーナル, 32(10): 2653-2664, 1996

## 〔凡 例〕

## 1. 投与方法

静は静脈内注射、点は点滴静注、筋は筋肉内注射、皮は皮下注射、動は動脈内注射を意味する。

## 2. 用時溶解

●印は用時溶解して用いる注射薬を示し、※は用時懸濁して用いる注射薬を示す。

空欄は溶解済の注射薬を示す。

## 3. 規格pH域

添付文書記載のpH域を記入した。

## 4. 試料pH

実験に供した注射薬のpHである。

## 5. (A) N/10 HCl、(B) N/10 NaOH

0.1N HCl、0.1N NaOHにより上限を10mLとして滴定を行ない、外観変化が認められた場合は、この時の滴下mL数とし、外観変化が認められなかった場合は10mLとした。

**変化点pHまたは最終pH**：上記滴定により、外観変化が認められたpHを変化点pHとし、外観変化が認められなかった場合は、10mL滴下時のpHを最終pHとした。

**移動指数**：上記pHと試料pHとの差を示す。

## 6. 変化所見

0.1N HCl、0.1N NaOHの滴定における外観変化を記入した。

## 7. 浸透圧比

浸透圧比は氷点降下法により測定し、生理食塩液を1として比であらわした(添付文書記載の値を記載した)。

## 8. その他

用時溶解以外の空欄は、データなしを意味する。

(幸保文治著「注射薬便覧」南山堂1976の凡例に基づく)

## 注射薬のpH変動試験法及び希釈試験法

## 1. 試料

1アンプル、1バイアル中の容量が10mL以上の場合には10mL、10mL未満の場合は1アンプル、1バイアルの容量をもって試料とする。用時溶解して用いる注射薬は添付の溶解液、又は添付文書中に指定の注射液の指定量で溶解する。

## 2. pH変動試験法

0.1N HCl、0.1N NaOHにより、上限を10mLとして滴定を行ない、外観変化が認められた場合は、この時のpH(変化点pH)及び滴定量を測定する。また、外観変化が認められなかった場合は、10mL滴下時のpH(最終pH)を測定する。

## 3. 希釈試験

外観変化の認められるものについては変化点pHにおいて、さらに20mLおよび500mLの蒸留水を加えて良く攪拌し、外観変化の状態を希釈直後、30分、1時間、3時間、室温にて観察する。

(幸保文治著「注射薬便覧」南山堂1976 P.32に基づく)